

第 1 学年保健体育科学習指導案

日 時 平成23年 9月30日 (金) 6校時

学 級 1年1,2組(男子36名)

場 所 体育館

指導者 猫塚篤志

1 単元名

球技 イ ネット型 「バレーボール」

2 教材について

(1) 教材観

バレーボールは、ネットをはさんで2つのチームが、空中にあるボールをつないで、攻撃や防御して得点を競い合う運動である。ネットでコートが2分されることにより、相手プレーヤーとの身体接触の場面がなく、自分たちのチームの動きを直接阻害されることなくプレーできるという特性をもっている。

技能の中心は、自分たちのチームから働きかけたり、相手チームの動きに対応したりする集団的攻防の技能であり、これを可能とさせる要素としてサービス、パス、スパイク、ブロッキングなどの個人的技能がある。集団的攻防の場面となるゲームにおいては、チームワークや、チーム内での個人の役割を果たすことが重要であり、主体性、協調性、社会性を養うことができる。また、個人的技能を習得する過程の中で、瞬発力、巧緻性、敏捷性、などを養うことができるとともに、全般的な体力の向上を図ることができる。

上記特性を踏まえ、本単元では、

- ①練習やゲームに意欲的に取り組み、バレーボールの楽しさに触れることができる。(関心・意欲)
- ②常に自分やチームの課題を持ち、それを解決する方法を考え、教えあい、協力しあいながら努力することができる。(関心・態度・思考・表現)
- ③バレーボールに必要な個人技能を高めることができる。(技能)
- ④相手の動きに応じた動きの練習ができる。(思考・判断)
- ⑤バレーボールのルールを理解し、公正な態度で審判やプレーをすることができる。(知識・理解・態度)
- ⑥自分の役割を果たし、健康や安全に留意して活動することができる。(態度)

ことをねらいとする種目であると思う。

また、バレーボールは、社会体育の面からも小学生から中高年齢層の人々まで、レクリエーションスポーツ、生涯体育の種目として幅広く普及しており、手軽に楽しむことのできる種目である。

(2) 生徒観

授業は、男子1組18名、2組18名の計36名で構成されている。小学校から体育が嫌いな生徒が数名いるが、授業への取り組みは全体的に意欲的なので、リーダーを中心に積極的に活動できるグループでの取り組みをさせたい。バレーボール経験者がいないので、説明に時間がかかるが、初めてのネット型競技に興味を持って取り組もうとしている。

ほとんどの生徒が南城小学校から入学してきているので、人間関係の改善、新しい自分づくり、がうまくできない生徒が多い。チーム編成や、ルールの工夫、「ドンマイ」等の声かけの徹底により、みんなが参加できるバレーボール特有のゲームの楽しさを感じさせ、その中で新しい人間関係づくりの一助となるよう期待したい。

(3) 指導観

バレーボールの面白さは、まず、仲間と協力しながらラリーをつづけることにあり、その中でスパイクやブロックなどの技術が使えるようになれば、その醍醐味を味わうことができる。その技能を獲得するために個人と集団に毎時間課題を持たせ、効果的な練習法を工夫させ、解決し、チームの成果につながっていけば、生徒たちは活き活きと活動するものとする。また、決して失敗を責めず、「笑顔でドンマイ」を徹底することで、結果的にグループの力が付くことを実感させたい。

そこで、次のようなことを実践していくものとする。

- ①自己やチームの能力に合った課題を見つけ、課題を設定させる。(話し合い、課題設定、教えあい)
- ②自己やチームにおける課題解決練習を選択したり、考えたりし、実施させる。(練習方法の提示・話し合い、教えあい)
- ③学習カードの利用(個人・チーム)
- ④毎時間、チームリーダーとの事前の打ち合わせを簡単に行い、話し合い活動がスムーズにいくようにする。
- ⑤基本的技術は徐々に身につけるものとし、簡易なスパイクフォーメーションをはじめに指導して、スパイクにつなげることを目的としたゲームを中心に進め、1年目でブロックフォーメーションまで持っていきたい。
- ⑥行動の素早さやドンマイ等の声かけ、課題の達成状況等を審判担当グループに評価させ、意識を高める。
- ⑦ゲームのルール工夫

3 単元の目標・指導計画・評価規準

(1) 目標

- ・基本的な知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫する力を身につけさせる。

(2) 指導計画と評価規準

時間	学習活動	評価規準			
		運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
1 2 3	・ドリルメニューを行いながら各技能を練習する。 ・今持っている力でラリーを楽しむゲームを行う。	・仲間と励まし合いながら、球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・自分の役割を果たそうとしている。		・各技能を習得し、ゲームの中でいかしている。	・ルールを理解し、ゲームを進めている。
4 5(本時) 6	・簡易なフォーメーションを学び、スパイクを積極的に出すゲームに取り組む。	・チーム力の向上のための話し合いに参加しようとしている。 ・ポジション確認の声かけを行っている。	・楽しく目標を達成するため、自分たちの能力に合ったルールを選択している。 ・自己やチームの課題を見つけ、練習方法を選んでいる。	・レシーブフォーメーションとり、スパイクにつなげることができる。	・自分のポジションと役割を理解している。
7 8 9	・自分たちの課題練習に取り組み、作戦を活かしたゲームを楽しむ。	・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。	・自分たちの能力を捉えつつ正規のルールに近づける選択をしている。 ・自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	・今までに習得した技能を活かし、作戦を活かしたゲームができる。	・競技の運営の仕方や、ルール、審判の方法を理解している。
10	・まとめのゲーム		・個人やチームの成果を見つけている。	・今までに習得した技能を活かし、作戦を活かしたゲームができる。	

4 本時の指導

(1) 目標

- ・レシーブフォーメーション使い、スパイクにつなげることができる

(2) 評価規準

評価場面	具体的評価規準		努力を要する (C) 生徒への手立て
	十分に満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールを確認させる。 ・フォーメーションを確認しながらゲームをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく目標達成するため、自分たちの能力に合ったルールを選択している。 ・レシーブフォーメーションを理解し、積極的に仲間に声をかけ、スパイクにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく目標達成するため、自分たちの能力に合ったルールを選択しようとしている。 ・レシーブフォーメーションを理解し、スパイクにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のゲーム場面を振り返らせ、ルールをどう工夫したらよいか考えさせる。 ・周りに積極的に声をかけをさせ、ポジションを意識させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎)
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム毎に補強運動をする ・あいさつをする ・技能カードの確認をしドリルメニューを行う ・学習課題を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で正しいやり方を巡回指導する ○前時に決めた今日の課題を確認させ、ドリルメニューをおこなわせる ○効果的なやり方を巡回指導する ○レシーブフォーメーションを確認し、毎回声を掛け合うことを指示する
展開 30分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 簡易なレシーブフォーメーションをとり、スパイクにつなげよう！ 【若葉フォーメーション】 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム形式練習 毎回、ポジションを確認しながらゲーム形式で練習する ※セッターはキャッチ ・ゲームルール確認する ・ゲームで試す 	<ul style="list-style-type: none"> ○スパイクにつながるフォーメーションを「若葉！」の声かけでポジショニングさせる。声かけが多くなるようほめる ○スパイクが来なそうなときは直ちに「若葉！」 <p>☆【思考力・判断力・表現力等の育成を図る指導過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎楽しく目標達成するため、自分たちの能力に合ったルールを選択しているか【思考・判断】 [サービス位置、タッチ回数、スパイク・ブロック点数、キャッチ有無ワンバウンド有無・回数、ローテーション有無、セッター固定] ※ラリーが続きながら目標達成に取り組めるようなルール選択 <ul style="list-style-type: none"> ◎レシーブフォーメーションを理解し、スパイクにつなげているか【技能】
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ、評価、発表をする ・次時の確認をする ・あいさつをする 	<p>☆【思考力・判断力・表現力等の育成を図る指導過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに本時の反省と相互評価。 ○成果と反省、本日のMVPを発表させる。 ○次時の予告をし、次時の課題を記入させる。